

《基本理念》医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

TORANOMON
VOL. 108
2012.7

とらのもん

URL : <http://www.toranomon.gr.jp>



日本医療機能評価機構

公開講座

『ほくろと皮膚のがん』

皮膚科部長 林 伸和

日時：7月21日（土） 14：00～15：30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）

※ 諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

【お知らせ】

2月に広報誌に関するアンケートを実施した際に、バックナンバーを手にとって読めるように置いてほしいというご意見をいただきましたので、本院は本館1階総合案内の向かいに、分院は外来棟1階再来受付機の横にスタンドを設置しました。直近半年分の広報誌を置いてありますので、是非ご覧下さい。

今月の特集

- 公開講座 ほくろと皮膚のがん
- 虎の門病院付属健康管理センター・画像診断センターの心強い後ろ盾
- 連携医療機関のご紹介
- 「ハイ！お答えします」
～こころづか眼科～
～事務部外来管理課 総合案内～



『すいれん（千葉公園）』

撮影：増田 勝男

はじめに

皮膚は色々な細胞が集まってできています。皮膚の表面を覆う表皮細胞、色素を産生する色素細胞、痛みやかゆみなどを伝える神経細胞、毛を形成する毛母細胞、皮脂を産生する脂腺細胞、コラーゲンなどの支持組織をつくる線維芽細胞、血管を形成する血管内皮細胞や血管平滑筋細胞などです。それぞれの細胞が良性・悪性の腫瘍となりうるため、皮膚がんの種類は非常にたくさんあり臨床像も多彩です。

概して悪性のものは急速に大きくなったり、色や形が不規則だったりします。また、出血が続いたり、治りにくい傷になっていたりすることがあります。しかし、中には湿疹やたむしなどと区別がつかないようなものもあります。ご自身の全身を鏡で見てみて、最近できたできものやシミがあれば、一度皮膚科を受診してみてください。すべてをお話することはできませんので、ここでは日本で最も多いと思われる黒いできものについてお話しします。

ほくろ

ほくろは、ほくろの細胞（母斑細胞）が増殖してできる良性の腫瘍で、色素性母斑あるいは母斑細胞母斑などと呼ばれます。生下時からある先天性のものと、生後に新しくできてくる後天性に分かれます。

先天性の色素性母斑は大きさも様々で、体の大きな部分を覆うような巨大なものや、太い毛が生えているものもあります。特に巨大な色素性母斑では悪性黒色腫という皮膚がんを生じる頻度が高く注意が必要です。

通常のはくろは3種類に分類できます。皮膚の浅いところだけに母斑細胞がある境界型、皮膚の深いところだけに母斑細胞がある真皮型、浅いところと深いところの両者にある複合型です。真皮型や複合型では加齢にもなって次第に隆起し、色が抜けてくることがあります。

爪に縦に黒い線ができる爪のはくろ（爪甲黒色線条型母斑）や、青少年に好発し良性であるにもかかわらず急速に大きくなる若年性

皮膚科部長

林 伸和 平成元年卒

<専門分野>

ざ瘡、レーザー治療、創傷治療

<資格・所属学会等>

日本皮膚科学会専門医・代議員

日本レーザー医学会評議員

日本美容皮膚科学会評議員

日本化粧品学会評議員



黒色腫（スピッツ母斑）と呼ばれるほくろなどの特殊なものもあります。これらは後に述べる悪性黒色腫と区別がつきにくく診断が難しいので、新しくできたり形に変化があったりする場合には早期に皮膚科医を受診し、必要な場合には切除して組織学的な検査を受けることをすすめます。

老人性のシミやイボ

お年を召されると、多くの方の顔面や手背などにシミができてきます。さらに、シミのところが盛り上がっていぼ状になることもあります。これらは老人性のシミあるいは老人性のイボという意味で、老人性色素斑や老人性疣贅（ゆうぜい）と呼びます。いずれも紫外線が発症に関与しており、日焼けしやすい場所にできます。老人性のシミは保険が効きませんがレーザーで治療できます。また老人性のイボは、液体窒素で治療すれば健康保険でカバーされます。しかし、これらも日光角化症や悪性黒子などの皮膚がんとの区別が難しい場合がありますので、形が変だったり、大きさや色に変化があったりする場合には気軽に皮膚科医にご相談ください。

悪性黒色腫

悪性黒色腫は一般に“ほくろのがん”と呼ばれているものです。色素細胞（メラノサイト）が悪性に変化して増殖しています。多くは黒色ですが、中には赤い色をしている無色素性のももあります。悪性黒色腫は非常に転移しやすく、早期発見・早期治療が大切です。

悪性黒色腫は結節型・表在拡大型・末端黒子型・悪性黒子型に分類できます。中でも、日本で特に多いのは末端黒子型です。末端黒子型は足の裏や手足の指（趾）にできる悪性黒色腫です。爪にできることもあります。足の裏のほくろはがんになりやすいという啓発活動が進んでいますが、このタイプの悪性黒色腫のことを指しています。手足に大きな黒いシミやほくろができて拡大していたり、爪が黒くなったり割れてきたりした場合には必ず皮膚科を受診してください。

次に多いのは結節型です。結節型は黒い結節が急速に盛り上がってきます。全身のあらゆるところにできることがあります。後天性にできた急速に盛り上がる黒いできものは注意が必要です。

表在拡大型はくろいしみができ、数カ月から数年かけて次第に大きくなり、やがてその一部が隆起してきます。比較的若年者にも生じ、背部や下肢などに好発します。白人に多く日本ではまれとされていましたが、最近本病型の増加がいらわれています。その原因としては、オゾン層破壊に伴う紫外線照射量の増加などが指摘されています。

悪性黒子型は顔面の露光部に好発します。黒褐色のシミが次第に大きくなり、放置しておくと隆起した結節ができてきます。

悪性黒色腫の簡単な見分け方として、表に示すようなABCDE診断基準というのがあります。最近大きくなっていて表にあてはまるような症状があれば、皮膚科を受診してください。

A	Asymmetry	形が左右不対称で不規則
B	Borderline irregularity	境界が不明瞭
C	Color variegation	色調が多彩
D	Diameter enlargement	大きさが6mm以上
E	Elevation of surface	表面が隆起

〈表：悪性黒色腫の簡単な見分け方（ABCDE診断基準）〉

基底細胞がん

基底細胞がんは、顔面に好発する黒いがんです。ゆっくりと数年かけて大きくなり、放置しておくと真ん中に傷ができて難治性の潰

瘍になることがあります。転移することは稀ですが、放置しておくとも骨まで浸潤して切除できなくなります。そこまで進展するまえに切除することが肝要です。

新しい診断方法(ダーモスコピー)

表にあてはまるような黒い出来物を見つけたら、皮膚科を受診してください。従来は皮膚科医も肉眼で悪性・良性の判断をし、怪しいものは切除するという方針でしたが、最近ダーモスコピーという新しい診察方法が加わり、診断がより容易になってきました。

ダーモスコピーは皮膚の表面の光の乱反射を抑え、明るく照らしながら拡大して皮膚内部の色の様子を観察する診断機器です。肉眼にみるよりも細部の構造が分かります。いわゆるほくろやシミ・イボなどでは規則正しい構造をしています。悪性黒色腫では不規則で色むらがあり、良性のものとは異なる構造を示します。

ダーモスコピーは色のついた病変の診断には非常に有用で、良性のものと悪性のものの区別がこれまで以上に容易になりました。しかし、すべてが見分けられるわけではありません。明らかに悪性の場合には最初から手術を選択しますが、悪性が否定できないような場合には一部を切除して組織検査を行い、確定診断がついてから手術の方法をきめます。

治療

皮膚がんの治療の主体は手術療法です。基底細胞がんでは、腫瘍を十分に切除することで治療は十分ですが、悪性黒色腫の場合には腫瘍が進達している深さや病期によって、関係するリンパ節を切除したり、化学療法を行ったりします。

まとめ

皮膚のがんは内臓と異なり、ご自身で見ることができます。特に、日本人では足底や手足の指（趾）にできる黒色斑は注意が必要とされています。一度ご自分やご家族の手足をご覧になっていただき、気になるものがあれば、早めに皮膚科を受診してください。

医師の修行

「病気を診断し、その病気をなおす」という目的の為に、ひとが連鎖して動いている組織が病院です。医療従事者とくに医師は、医学部卒業後多くの病気を経験し、陽明学でいう“事上磨錬”をおこない自分の技量をあげるように勤めています。剣豪で有名な宮本武蔵は、その著「五輪書」の中で、「修行では“鍛錬”が必要である。鍛とは1,000日（約3年）の修行をい、錬とは10,000日（約30年）の修行をいう。」と記載してあります。医師もこれと同じように一生、技量の習熟に勤めていかなければ、最新のより効果的な医療を提供し続けることが難しくなります。

医師が日常診療で直接に経験した事例はきわめて重要であり、心身の養分になると思われま。しかしながら、医師自身が直接経験できる事例はどうしても限られてしまいます。プロシヤの鉄血宰相といわれたビスマルクは「愚者は経験から学び、賢者は歴史より学ぶ」と述べているように、多くの人の経験を、講演・書物等を通して学べば、一人の経験では学びきれない数多くの事項を経験したと同じように知ることができ、その後の日常診療に役立てることが可能と考えられます。日本あるいは世界での医療の発展には、多数の受診者での経験を発表し、多くの医療関係者を啓蒙してくれるような施設・医師の存在が不可欠と思います。

その意味では虎の門病院は、各時代時代において最先端の医療技術を導入しその成果を発表し、日本さらには世界の医師に多くの知見を披露してきたのではないかと思います。その一端を次に紹介します。

虎の門病院各科の医学界での貢献

虎の門病院各科の医学界での貢献について、表にまとめて示します。紙面の関係で全ての科を記せませんので、主として内科系の一部の科についてお示しします。

一番手として、循環器センターを紹介し。現在、日本国内では心臓病死が死因の第2位を占めており、その多くが狭心症・心筋梗塞等の病気です。この病気の確定診断には心臓を栄養している冠動脈という血管が狭くなっているか否かを調べるのが一般的です。冠動脈の状

健康管理センター・画像診断センター
統括センター長
荒瀬 康司 昭和58年卒



<専門分野>

肝炎・肝硬変・肝がんの診断および治療、総合内科健診

<資格・所属学会等>

日本内科学会総合内科専門医・指導医・評議員・消化器学術担当

日本消化器病学会専門医・指導医・評議員

日本肝臓学会専門医・指導医・評議員

日本内視鏡学会専門医

日本人間ドック学会専門医・学術編集副委員長

日本癌治療学会、日本栄養学会

態を検査するのが冠動脈造影であり、1973年7月国内最初の冠動脈造影が当院でなされました。造影の機械は当時8,000万円（現在の価格では約10倍）し、日本国中の病院から見学者がみえました。当院での冠動脈造影検査を元に、その後全国にこの検査法が普及するようになっていきました。（現在は狭心症・心筋梗塞の病気の本態である冠動脈の異常は当院人間ドックの動脈硬化ドックで核磁気共鳴（MR）を用いて検査が可能となっております）。

次に消化器内科です。胃の検査は現在電子スコープがひろく普及していますが、それ以前は胃ファイバースコープによりおこなわれていました。胃ファイバースコープの第1号機は1972年5月当院で施行されました。この時代には胃ファイバースコープは太く径2cm以上ありましたが、現在、当院人間ドックでは通常径では8～9mm、細径では5.5mmのスコープを使用し、以前に比して被検者の負担は少なくなっていると思います。

腎センターは、とくに慢性腎不全の治療での貢献が大きく、1967年に腎臓移植国内第1例を経験しております。また透析には腹膜透析・血液透析とありますが、腹膜透析時の水の出し入れを行う腹膜透析ボタンの開発等も当院で行われました。さらに30年以上の人工透析受診者も日本一多いと聞いております。

呼吸器センターは、び慢性汎細気管支炎など新しい疾患概念の構築をし、これが世界的に認められております。呼吸器の基礎研究・臨床研究が継続的に行われ、当センターから医学部教

授を計7名輩出しており、その数は当院の専門科のなかでは最多です。

内分泌代謝科は糖尿病に対する教育入院が国内2番目におこなわれた施設です。また、「糖尿病には1型・2型がありますが、通常急激に発症・悪化する1型のなかにゆっくり発症・進展するタイプがあること」「糖尿病網膜症を合併し、コントロール不良な患者が急にコントロール改善すると網膜症が一時的に悪化する」を世界に先駆けて発表してきました。

血液内科は、白血病およびリンパ節の悪性腫瘍である悪性リンパ種に対する国内でも牽引的な施設であり、これらに対する骨髄移植数は多く、2003年より年間100例を超え、国内トップを続けております。

神経内科は、1959年当院に国内最初の神経内科が誕生しました。仏国・米国からの最新の神経学が導入され、国内の神経系の難病疾患例が集まっていました。神経内科もその後医学部教授を6名輩出し、研究の質の高さを示すものと思われま。

次に消化器外科に焦点をあてます。消化管の病変部を切除した後、消化管を吻合（上下をぴったり合わせてつなぐこと）する際に使用する器械吻合の導入、食道がんに対する頸・胸・腹部3領域広域リンパ節処理法の導入、大腸がんに対する腹腔鏡下手術国内最多等の実績を持つ科です。私がレジデント時代消化器外科をまわっておりましたとき、入院患者さんの中に胃悪性腫瘍で手術を受けられた医学部教授がおられました。「秋山先生（当時消化器外科部長、その後6代目院長）の手術数の多さ・成績の良さ・合併症の少なさは国内はもちろん、国際的にも群を抜いているので、虎の門病院を選びました」と言われ、レジデントではありましたが、大変うれしい気持ちになったのを覚えております。

最後に私が長年所属した肝臓内科について触れます。肝臓内科では1980年熊田部長（現在分院長）がB型慢性肝炎に人工的に急性肝炎を起こして治癒せしめるというステロイド短期離脱療法を世界に先駆けておこないました。これはインターフェロン等抗ウイルス療法のなかった時代には画期的な治療でした。その後、B型慢性肝疾患、C型慢性肝疾患の治療を精力的におこなっております。C型慢性肝疾患に対するインターフェロン療法は7,200例を超え、全国の1.4%（島根県と鳥取県を合計した治療数に相

専門科	内容
循環器センター	1973年7月国内最初の冠動脈造影
消化器内科	1972年5月胃ファイバースコープ国内第1号機での検査施行
腎センター	1967年に腎臓移植国内第1例目
呼吸器センター	び慢性汎細気管支炎など新しい疾患概念の構築
内分泌代謝科	糖尿病に対する教育入院国内2番目
血液内科	骨髄移植数は多く、2003年より年間100例を超え、国内トップ
神経内科	1959年国内最初の神経内科誕生
消化器外科	器械吻合の導入、食道がんに対する広域リンパ節処理法
肝臓内科	B型慢性肝炎へのステロイド離脱療法 C型慢性肝炎への抗ウイルス療法数国内トップ

〈表：虎の門病院各科の医学界での貢献〉

当、都内10大学病院の総数より若干多い)に相当しています。またB型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法は、全国の3%程度が当院でなされております。2009年にはC型慢性肝炎においてインターフェロン以外の内服剤のみでウイルスを排除した報告を世界で最初におこないました。これをもとに近い将来内服剤のみでC型肝炎ウイルスを押しさえ込める時代がくると思われます。

以上述べてきたように当院における各科は、日本・世界に誇れるような医学の進歩に貢献してきたのではないかと思います。当院での診療の成果を公表し、これをもとに国内・国外の数多くの医師がその技量を向上されたのではないかと考えられます。

健康管理センターと各科との関係

人間ドックを受診し異常がみられた場合、どのような病院施設を紹介してくれるのかは、受診者にとって大事な事項のひとつと思われま。当院人間ドック受診者の総合判定には当院各専門医が慎重に関与し、疾患が疑われた場合には、その疾患の種類により上に述べましたような当院各科に紹介いたします。私ども、健診に従事するものにとって医療レベルの高い当院の各科が控えていてくれていることは、きわめて心強い次第です。

〈院長あいさつ〉

当院理事長の高塚 忠宏は、虎の門病院眼科の部長として網膜硝子体手術を行い、多くの実績を残しました。そして、退職後の2004年5月に高塚が生まれ育った与野の地に、より良質な眼科医療を提供するため当院を開院しました。その後、2011年4月より大坪 哲三を院長とし、外来は高塚・大坪、手術は主に大坪が担当しております。また、虎の門病院眼科に所属していた現横浜市大センター眼科の荒川 明准教授も、最新情報の提供や手術にご協力を頂いております。

開院以来、12,000人以上の患者登録があり、手術も白内障手術・硝子体手術を中心に、徐々に手術件数を伸ばしております。昨年は計433例の手術を行いました（外来小手術・レーザー除く）。当院自慢の手術室は、HEPAフィルターによる空調管理で、人工骨頭置換術もできるレベルの清潔度を維持でき、手術の安全性に寄与しております。

当院では、虎の門病院眼科とほぼ同等の眼科検査を行う事が可能です。特に光干渉断層計（OCT）は、現在では最新型の物を導入し、より適切な時期に硝子体手術ができるようになっております。また、看護師・検査スタッフは、全て国家資格を有しており、より正確・安全な検査を行い、処置ならびに看護面でも良質である様心掛けております。

昨年の東京電力による計画停電を受け、自家発電機を設置致しましたので、停電があっても滞りなく診療が行える体制となっております。より多くの患者様にご満足頂ける様、今後も常に改善を目指します。

理事長 **高塚 忠宏** (こうづか ただひろ)



- 資格・所属学会等
- 日本眼科学会認定 眼科専門医
- 日本眼科学会、日本眼科手術学会
- 日本網膜硝子体学会 会員
- American Academy of Ophthalmology 会員
- 前 虎の門病院眼科 部長
- 前 慶応義塾大学医学部 客員助教授



〈外観〉



〈スタッフのみなさん〉

院長 **大坪 哲三** (おおつぼ てつぞう)



- 資格・所属学会等
- 日本眼科学会認定 眼科専門医
- 眼科PDT研究会 認定医
- 日本眼科学会、日本眼科手術学会
- 日本網膜硝子体学会 会員
- 日本白内障屈折矯正手術学会 会員
- 前 横浜船員保険病院眼科 科長



〈手術室〉



〈病室〉

【診療日・診療時間】

時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00～ 13:00	-	高塚 大坪	高塚 大坪	高塚 大坪	高塚 大坪	高塚 大坪	-
15:00～ 19:00	-	高塚 羽藤	高塚	高塚	高塚	高塚 大坪	-

- 休診日/日曜日、月曜日、祝祭日
- ※ 受付時間は午前12:15、午後18:15までです。
- ※ 診察は予約優先制です。
3ヶ月前より予約をお受けいたします。
急患の場合を除き、前日までに予約の申込をお願いします。

予約電話番号 048-822-4114

【対応可能手術】

- 網膜・硝子体手術：網膜光凝固術、網膜復位術、硝子体莖頭
微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、黄斑下手術 他
- 水晶体再建術（眼内レンズ縫着を含む）
- 緑内障手術：虹彩切除術、線維柱帯切開術 他
- 前眼部手術：翼状片切除術、結膜弛緩症手術 他
（手術日：火・水・木・金の午後）



こうづか眼科

- 住所 埼玉県さいたま市中央区下落合1022番地
- 電話 048-822-4114
- URL <http://www.kouzuka-ganka.jp>
- 交通 JR京浜東北線「与野」駅 西口より徒歩5分
JR埼京線「与野本町」駅 東口より徒歩15分

井上靖—①わが母の記

元精神科部長 栗原 雅直

映画「わが母の記」を見た。井上靖の生い立ちや母を巡っての自伝的小説が映画になったのである。役所広司が作家「伊上洪作」に扮し、世田谷の井上邸や実家の湯ヶ島という現場でロケしたので、雰囲気がよく出ていた。母の八重さんを樹木希林が演じたが、懐中電灯を手に寝静まった家族の部屋に侵入し、また沼津中学に在学しているはずの息子を探そうと突然家出したりした。御用邸そばの白浜海岸で発見され、背負われながら帰ってくる場面は感動的だった。

靖は両親や弟妹から一人だけ離されて、血の繋がらぬ祖母に土蔵の中で育てられた。そんな生い立ちが彼の人格形成に大きな役割を演じたい。少年時代に彼が書いた詩作ノートを母が秘かに保管していたことが分って、親子の愛が確認されたのであった。

樹木希林は、老年の八重を演ずるとき、入れ歯を外したり背を縮めたりしたそうである。私は最初、あんなにスタスタ歩く老婆などはないと思った。最近のお年寄り、みんな小太りでヨチヨチ歩いているからだ。食はそう細くならないので、体重が腰やひざの負担になっている。

だが八重さんは、記憶力低下で壊れた蓄音機のように同じ話を繰り返すくせに、八十歳近くまで疲れを知らず歩き回っていたという。例外的に足腰が達者なお年寄りだったのだろう。もっともそんな徘徊老人の方が、お世話は大変なのである。だが、次第に彼女の存在感は薄くなり、子供たちに人生の儚さを知らせたという。

最近の映画は認知症はやりである。例えば『鉄の女サッチャーの涙』で、女優のメリル・ストリープは、肥満体で動作緩慢になった元首相を演じていた。イラン映画『別離』でも、父親は認知症のため、通りに飛び出し車に轢かれそうになったりし、お手伝いさんがベッドに縛りつけてしまった。私もやがて虎の門病院の外来をクビになったら、認知症俳優なら地で行けるかもと、呑気に空想したのであった。

『しろばんば』『幼き日のこと』によると、井上家は何代も続いた葦山代官の典医だったそうである。曾祖父の潔も湯ヶ島で近辺の患者を診療し、評判がよく財産も作ったという。下田の芸者「ぬい」を落籍して家に引き取り、彼女を孫娘八重（靖の母）の養母として入籍させた。

父の隼雄は湯ヶ島の門野原地区でシイタケ栽培などをしていた親戚の出で、井上家の長女の入り婿になった。やがて軍医となり、最初の赴任地旭川で長男の靖が生まれている。彼だけ5歳から天城湯ヶ島にある本家に戻り、義理の祖母「おぬい婆さん」によって土蔵で育てられた。

彼は自然児だったが、幼少のときから友情に厚

く、自分で物を考える人だった。当然家業を継ぐことも考えたらしく、金沢にある旧制四高の理科に入学した。しかし高校生活はもっぱら柔道の猛練習ばかりで、九州帝大の医学部受験には失敗。結局28歳になってやっと京都帝大の文学部哲学科を卒業した。毎日新聞社大阪支局に入り、美術・宗教方面の記事を担当した。1949年『闘牛』が芥川賞に入賞したのを機会に新聞記者を辞めた。記者時代の勉強が後の作品『天平の甍』^{いらか}『敦煌』『風濤』などに生かされ、さまざまな文学賞を受賞することにつながっている。

父の隼雄を養育した親戚の足立文太郎は、研究熱心な解剖学者で、作品中に何度も登場している。『比良のシャクナゲ』では、文化勲章を授与される友人の会で祝辞を述べさせられることがいやで、琵琶湖畔の旅館にこもってしまった。いままで世俗に超然としていた主人公は、せめて文化勲章くらい貰いたいと思ったそうである。現実には靖自身が1976年に文化勲章を受章しているが、これは「若き日の願いは年老いてから充たされる」ことになったわけである。靖は京大在学中に、文太郎の娘ふみと結婚している。

小学生のときは勉強そっちのけで遊んでいたため、浜松一中の受験には失敗してしまった。しかも家庭教師の先生が統合失調症を発病したというオマケ付であった。靖の長男が東大を受験するとき、たまたま私の友人山本（現 川端）香男里君が家庭教師になった。この人を、のちに私が川端康成のお婿さんにお世話したのであった。穏やかないい人と靖が評していた話を、川端康成から聞いたことがあったが、多分そのとき靖は昔の受験時代を思い出していただろう。長男修一氏は目出度く東大独文に合格、現在オーストリー文学の権威だという。こんな裏話も私の地獄耳に入っている。



〈世田谷・自宅書斎の井上靖〉



〈世田谷・井上邸書斎における洪作〉



〈足立文太郎
(1865～1945)〉

【出典：Wikipedia】



〈洪作に背負われた八重〉

【出典（左上・右上・右下）：
オフィシャルフィルム読本「わが母の記」
【東京ニュース通信社】】

ハイ！お答えします

日頃、心と疑問を持ちながら過ごしていることや、つい聞きそびれてしまったことなどありませんか？
今回は外来受診の患者さんからよく伺う疑問・質問に事務部外来管理課の総合案内スタッフがお答えします。

Question

はじめて虎の門病院を受診します。予約はできますか？

Answer

当院は、本院・分院ともに初診の患者さんの予約はお受けしておりません。外来診療日に直接お越しください。

※ なお、本院の以下の診療科については、初めての方のご予約もお取りしています。

- 脳神経外科・整形外科：紹介状をお持ちの方のみ予約可能
予約直通電話番号 03-3583-1406（受付時間 平日14:30～17:00）
- 産婦人科：紹介状をお持ちでない方も予約可能
予約直通電話番号 03-3560-7751（受付時間 平日14:30～16:30）

Question

紹介状がないと費用がかかると聞きましたが、なぜですか？

Answer

国の医療政策により、医療機関の機能分化が進んでいます。普段の診察はかかりつけ医で行い、専門の治療が必要な場合は病院で行うといった形が推奨されています。当院も地域のかかりつけの先生方と協力しながら日々診療を行っています。かかりつけの先生と継続した診療を行うためには、患者さんの診療情報の書かれた『紹介状』が必要になってきます。

そのため、紹介状のない場合は、初診時選定療養費（本院：5,250円、分院：3,150円）を徴収しています。治療の継続性の観点からも紹介状を持参しての受診をお願いします。また、紹介状が無い場合は、専門科への受診はできませんので予めご了承ください。

Question

担当医から半年後に受診するよう指示がありました。次回の予約はどのようにすればよいですか？

Answer

当院では4カ月先の応答日までの予約を取ることが可能です（例えば6月11日の場合、10月11日までの予約が取れます）。次回診察の4カ月前になりましたら、恐れ入りますがお電話にてご予約をお取り下さい。お電話の際、診察券をご用意の上、受診科と医師の名前、ご希望の日時をお申し付けください。本院・分院各々の予約については右欄をご覧ください。毎日お昼頃や月曜日の午前中などお電話が殺到し、電話がつながりにくい時間帯もございます。そのような際は恐れ入りますが、時間をとおかけ直してください。15～17時頃は比較的電話がつながりやすくなっています。

※ なお、本院の一般内科については、1カ月前から予約を取ることが可能です。

私たちがお答えしました



事務部外来管理課 総合案内スタッフ
（前列左から、高科・二瓶、後列左から、兵庫・幸山・山口・中山）

予約専用電話（本院）

- 受付時間：月曜日～金曜日
（9：00～17：00）
（土日・祝祭日、年末年始、開院記念日（5月20日）除く）

☎03-3584-7436

予約電話（分院）

- 受付時間：月曜日～金曜日
（9：00～17：00）
（土日・祝祭日、年末年始、開院記念日（5月20日）除く）

☎044-877-5111

- ※ 外来受付にてご予約をお取りして下さいます。交換手に外来受付とお申し付けください。

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属
健康管理センター・画像診断センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
TEL 03-3560-7777（平日11:00～16:30）
ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制）

（料金）30分：21,000円（延長15分毎：10,500円追加）

（担当）本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141